

【大学間協定留学】留学報告書

記入日:2022年8月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科英米文学専攻
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヨーク・セント・ジョン大学 現地言語: York St John University
留学期間	2021年9月～2022年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年7月2日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:10月上旬～1月中旬 2学期:2月上旬～6月上旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約7000人
創立年	1841年

留学費用項目	現地通貨 (£)	円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため。
宿舍費	3690	60000円	
食費	1547	25000円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	100	16000円	=月額10£×10か月
現地交通費	0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1856	30000円	旅行
被服費	185	30000円	冬服を買い足したため。
医療費	0	0円	保険適用のため。
保険費	710	117000円	形態:東京海上日動火災保険(明治大学斡旋)
渡航旅費	1000	161676円	
ビザ申請費	333	55000円	
雑費	154	25000円	PCR
その他		円	
その他		円	
合計	9620	1554676円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田 目的地:マンチェスター 経由地:アブダビ 復路 出発地:フランクフルト 目的地:成田 経由地:ドバイ
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:_____ 料金:_____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Etihad Airways 料金:80000 円 復路 航空会社:Emirates 料金:81676 円 _____:合計:161676 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:skyscanner) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:St Mary's) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
大学の斡旋
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
フラットメイトは2人だけでした。私の場合は偶然少なく、通常は 3, 4 人です。毎週掃除をする役割分担があったので、共有する場も常に清潔に保たれていました。一緒に生活する上で、国籍関係なく互いを尊重する気持ちがあればお互いに気持ちよく過ごせると思います。そうすれば解決されるべき問題がフラットメイト間にあっても話し合いの元、スムーズに進みます。



寮外観



寮内観



フラットメイト

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所:リスボンの私立病院、ヨークの公立病院)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
友人との会話から情報収集したり、飲酒する場では自分で状況を把握できるくらいにするなど気が緩みすぎないようにしていました。実際に私が巻き込まれたことはありません。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮と学校では wi-fi を利用し、外では giffgaff のサービスを契約してインターネットを使用していました。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
インターネットで作れる Revolut という銀行で口座を作りました。親にも同様に銀行口座を作ってもらい、送金してもらいました。
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
洗濯ネット、洗濯乾燥バサミ
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



大学外観

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 未定単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 1 学期 60 単位		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
The Global Events Industry		グローバルイベント産業
科目設置学部・研究科	Businees School	
履修期間	1 学期間	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Winojith Sanjeewa	
授業内容	イベントを主催する上で考えるべきことを学びます。	
試験・課題など	プレゼンテーション、レポート	
感想を自由記入	先生が学生想いで、話しやすく、面白くもあり、とてもよかったです。イベントの授業だったので、実際にウィンターポールというイギリスで冬にあるイベントをクラスメイト 10 人で主催し、50 人弱の友達を招待しました。毎年ある、というわけではなさそうなので、先生次第だと思います。また、2 つの試験の内、1 つはグループプレゼンでした。今まで経験したことがなかったので、グループ内でのコミュニケーションの難しさを感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
The Principles of Marketing		マーケティング基礎
科目設置学部・研究科	Businees School	
履修期間	1 学期間	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回	
担当教授	Emma Johnson	
授業内容	マーケティングの基礎となる考え方を学び、それをどう新ビジネスに活かすか学びます。	
試験・課題など	プレゼンテーション、レポート	
感想を自由記入	マーケティングは今まで学んだことのない領域でしたが、基礎だったので十分についていくことができました。PESTEL 分析や、SWOT 分析などを学びましたが、これはイベントの授業でも使えたので、今後も広く使える考え方だと思います。グループプレゼンでは、既存の企業での新しい商品を考えました。積極的な意見交換の中で生まれたアイデアを、形にするのは難しかったですが、みんなで協力し合って楽しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Adaptations	改作
科目設置学部・研究科	Literature Studies
履修期間	一学期間
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	John Marland
授業内容	本が原作の映画作品について毎週異なる作品から学び、テキストと映像の違いや監督の違いを生んだ理由などを考えます。
試験・課題など	レポート 2 つ
感想を自由記入	一学期目の 3 つの教科の内、一番難しかったです。たくさんの文献を読んだり、探している内容の文献が見つからなかったり、エッセーの執筆にとっても苦労しました。ですが、しっかりとフィードバックがもらえるので、2 回目はそれを参考にして改善しました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Event Planning and Development	イベントの計画と発展
科目設置学部・研究科	Businees School
履修期間	1 学期間
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Winojith Sanjeewa
授業内容	イベントをアイデアレベルから、より具体的に計画に至るまでの財政など学びます。加えて、イベント終了後、今後に向けての振り返り方法なども学びます。
試験・課題など	プレゼンテーション、レポート
感想を自由記入	一学期目の先生が良かったので継続して取りました。そのため、一学期よりスムーズに授業に取り組むことが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender and Sexualities	性とセクシュアリティ
科目設置学部・研究科	English Literature
履修期間	一学期間
単位数	
本学での単位認定状況	20 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Fraser Mann
授業内容	ジェンダーの役割が社会でどう違うのか、映画や本を通して学びます。男女という垣根を超えて LGBTQ+について広く学ぶことができます。
試験・課題など	レポート 2 つ
感想を自由記入	一番面白かった授業です。毎週異なる映画や本をもとに授業が進みますが、見たことなかったけど見てみたら面白い！ということ作品がたくさんありました。最後の課題では、自由にテーマを設定してエッセーを書くことが出来ました。最上級生の 3 年生にとって最後の課題でもあったので教授が「楽しみながら書いてね～」といていたのが印象的でした。難しい授業ではありましたが、楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Writing to Order	クリエイティブライティング
科目設置学部・研究科	Creative Writing
履修期間	1 学期間
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義+セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Emma McKenzie
授業内容	毎週異なるテーマのライティング法を学び、自分たちで書き、披露します。
試験・課題など	エッセー1つ
感想を自由記入	一年生向けだったので色々な毎週色々なジャンルのライティングをカバーしていました。日本でも自分のクリエイティブさを求められるライティングをしたことなかった私にとってはちょうど良かったです。あらかじめ基礎がある人からしたら物足りなく感じるかもしれません。ワークショップ形式なので、学期に2回クラスメイトの前で自分の作品を発表します。とても緊張しましたが、色々なフィードバックをもらえて自分の意図してない解釈などもあり、面白かったです。



ウィンターボール



授業で仲良くなった友達

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学前から卒業を一年延長することを決めていたので, 留学中は特に就職活動はしませんでした。しかし, 留学前の夏休みには数社夏インターンに応募していました。その段階で, 将来何をしたいのかわからない, ということが判明していました。そのため, 留学中はどんなことをするとき「ワクワクするか」アンテナを常に張ったり, メモに残すようにしました。これは自分を知る, という意味でとても役に立ちました。 留学前に一度就活を経験しておくこと, 留学中に日記をつけることは, 留学終了後に就活をする方にもおすすめです。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	新型コロナの影響で一年渡航が延期されたので, 語学試験のスコア取得, 専攻, 出願等はあらかじめ済んでいました。
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ申請, ワクチン 2 回接種, 寮の選定, 授業の選択
	8月～9月	往路航空券購入, 渡航
	10月～12月	授業開始, 中間テスト, ウィンターボール
留学/帰国年	1月～3月	期末テスト, 長期休み, 新学期スタート, 中間テスト
	4月～7月	イースター休暇, 期末テスト, 復路航空券購入, 帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

【留学先を選んだ理由】

明治大学で英米文学を専攻しています。特にイギリス文化、文学に興味があり、学びを進めていく内に、実際に自分の目で見て、肌で感じたい、という思いから留学先はイギリスに絞っていました。

ヨーク・セント・ジョン大学にした理由は3つあります。1つ目が、他の大学にはなかった「仕事における文学」という授業があったため。結局、私が留学した期間には開講されませんでしたが、文学部を卒業したイギリス人がどんな進路の選択肢があるのか興味がありました。2つ目が、生活で、ザ・イギリスを感じられる小都市が良かったため。イギリス文学を学びに行ったので、小さい都市のほうが文化面でイギリスを感じる要素がたくさん残っている、と思ったためです。最後に、お話を聞かせていただいた先輩が YSJ を推していたことです。イギリス人が「ヨークっていい街だよな」というくらいイギリスでは人気の都市です。その理由は、大きく治安の良さ、人の温かさ、歴史の深さ、交通の便の良さの4つだと思います。総じて、YSJ に決めてよかったです。

【交友関係について】

小さい大学なので交換留学生のコミュニティも密で、授業の人数も少ないです。そのため、友達作りは全く苦労しませんでした。機会としては、交換留学生に対して毎週大学主催のイベントがあったり、フラットメイトに友達を紹介し合ったりします。あとはサークルもあります。前期はバドミントンサークルに参加していました。後期は残念ながら、体育館が改修工事に入ったのでありませんでしたが、前期でできた友達と後期も仲良くしていました。大学の近くに住んでいる学生が多いため、交友関係は広げやすく、友達と多くの時間を過ごすことが出来る環境です。

【アドバイス】

留学するか迷ったら、期間は問わず絶対にすべきだと思います。留学すると、何かしら発見があります。でも、留学しないと、後悔しか残りません。私はコロナで留学が1年延びたので、就活や卒業の時期を考えて留学しないことを考えた時期もありました。留学から帰ってきた今、「行く」という決断をした私が今までの人生で一番いい選択をしたといっても過言ではないくらい、留学してよかったです。理由は、「視野が広がったこと」です。留学中、様々な人に出会い、その分面白いバックグラウンドの在り方を知りました。その出会いを通して、今後の人生の選択が広がりました。「日本で与えられた選択が全てではないということ、それは1つの選択肢に過ぎないこと」を学生時代に学べたことは私の人生の大きな財産です。皆さんもぜひ挑戦してみてください！



ベルリン一人旅でできた友達